

LIBRARY TIMES



鎌ヶ谷市立第三中学校 図書館だより No. 7 2014/12月

早いもので今年もあとひと月を切りました。街はだんだんクリスマスムードが高まっています。楽しいイベントがたくさんあるので風邪などひかず、元気に過ごしましょう。

図書室では冬休みの長期貸出が始まり、特集コーナーも新しくなりました。年末年始ミニコーナーなどの展示もしています。(詳しくは裏面で) 期末テストが終わったこの時期に図書室でのんびりすごしてはいかがですか？

長期貸出が始まりました

一人3冊まで 返却日は1月7日



始業式の日には必ず返却しましょう。

新しい本もたくさん入ってきています。特集コーナーでは本を紹介している本なども置いています。同じ小説でもジャンルが違うお話や、これまであまり興味がなかった分類の本なども手に取ってみましょう。「食わず嫌い」ならぬ「読まず嫌い」はもったいないですよ！

みなさん、新着図書のコーナーの内容が変化しているの気づいていますか？新着図書が入るたびに図書だよりでお知らせしていますが、そのときに新着図書コーナーもリニューアルしています。コーナーの場所は変わらないので、置いてある本が変わっても気づきにくいのか時々「新しい本ありますか？」と聞かれることがあります。今年度の注文もそろそろ終了します。最後までどんな新しい本が増えていくか楽しみにしてください。

新着図書のお知らせは、「図書だより」と「図書室前掲示板」を要チェックです！
図書室入り口横の壁にある「司書のつぶやき」も見てくださいね。

ありがとう！

前回の図書だよりで募集した牛乳パックつめつめ隊ですが、お知らせが急だったのと面談期間中の時間が合わなかったために、ほとんど活動ができませんでした。残念な気持ちでいたところ、活動があったことを知った1年生の女子が昼休みにお手伝いを申し出てくれたのです。牛乳パックのサイズに合わせて、ていねいに新聞紙をつめてくれました。

とてもうれしかったです。学習委員もカウンター作業などを頑張ってくれています。長期休みの前などは貸出や返却が多いので大変です。



図書室を支えてくれている人たちに感謝します。ありがとう。

最近の図書室はとてもよい雰囲気です。ちょっと静かにしてもらいたいと思う人たちがいても、自分たちで「静かにしなくちゃ」と気づく場面を見かけるようになりました。さりげなく本を整理してくれる人や、はみ出たイスをしまってくれる人、カウンターで手続きしやすいように本を出してくれる人などの心遣いを感じるとうれしく思います。

このような人たちが心地よい場所としての図書室を作ってくれています。これからも学年に関係なく自由に過ごせる場所として、みんなが楽しめる場所を維持していきましょう。

12月の開館予定

★()内は昼休みの学習委員当番クラスです。

時間は図書室前の掲示板で確認してください。予定が変更になる場合もあります。

月	火	水	木	金
1日	2日開館 (2-4)	3日	4日開館 (1-1)	5日開館 (1-2)
8日	9日開館 (1-3)	10日開館 (なし)	11日開館 (1-4)	12日
15日	16日開館 (2-1)	17日	18日開館 (2-2)	19日開館 (なし)
22日開館 (なし)	23日天皇誕生日	24日	25日	26日
29日	30日	31日		

裏面へGO!

特集コーナーは2本立て!

その1:本を紹介してみよう

本を紹介する本があるよ

『10代をよりよく生きる読書案内』

日本編、海外編、詩歌編

NDC019コ (こやま峰子/編著 東京書籍)

「読書は心の栄養素」として、幅広く本を紹介。

紹介文はおススメしたい本をどのように伝えればよいかのお手本にもなります。



『ファンタジーガイド』

NDC019イ (石堂藍/著 図書刊行会)

小説の中でも人気が高いファンタジー。名作といわれる作品も数多くあります。

その証拠ともいえるのがこの本です。図書室にある本も紹介されているので見つけたらぜひ読んでみてください。あなたがまだ知らないファンタジーに出会える一冊となるでしょう。

『中高時代に読む本50』 NDC019シ

(清水克衛/著 PHP 研究所)

書店「読書のすすめ」の店長である著者がすすめる読書案内。本屋さんがすすめるのは「強く、やさしくかっこいい言葉に出会おう」とするための本。

読書が苦手な人は、まず「はじめに」の所で著者の言葉を読んでみましょう。

『作家の読書道』1~3 NDC910サ

(web本の雑誌/編本の雑誌社)

Webで連載されていた作家へのインタビューをまとめた本です。作品の作成秘話や本を書くことを職業にしている人が、読んできた本の話などが載っています。あさのあつこ、米澤穂信、有川浩、東野圭吾といった図書室にある本の作家も多く登場。どんな人があの作品を書いたのか興味がわきませんか?

『名作うしろ読み』 NDC908サ (斎藤美奈子/著 中央公論新社)

題名のとおり作品を最後の文章から紹介する本です。推理小説などネタバレしては意味がない作品もありますが、名作といわれる作品ほど最後の終わり方まで美しいというのが著者の意見です。

『推理作家の家』 NDC902ミ (南川三治郎/文・写真 西村書店)

こちらは海外の作家の家を紹介しています。『チャーリーとチョコレート工場』を書いたロアルド・ダールの家載っています。海外の作家なので、あまり知っている人は少ないけれどみんなオシャレなおうちに住んでいるなあという印象。



その2:年末年始、食べ物から見える文化

年末年始は、ケーキやチキン、おせち料理などおいしいものをたくさん食べる時期。クリスマスには世界でどんなものが食べられているのか、お正月のおせち料理にはどんな意味がこめられているのかなど、掲示物も展示中です。

『日本各地の味を楽しむ 食の地図』

NDC596シ (岸朝子/監修 帝国書院)

日本全国おいしいものだらけ!各地の名産品やご当地料理がまんさいです。土地ごとの味の違いや行事のときに食べられる料理なども紹介され、まさしく今回のテーマにぴったりの本です。

『テーブルマナーの絵本』 NDC596タ (高野紀子/作 あすなる書房)

お正月は新年の挨拶など、かしこまった場所に行くこともあるでしょう。中学生ともなると、マナーや態度がきちんとできているか見られていますよ。

正しい食べ方やお皿の並べ方など将来のためにも知っておいてソンはありません。

『くるみわり人形』 NDC Eイ (いせひでこ/絵 ホフマン/原作 ブロンズ新社)

クリスマスプレゼントにくるみわり人形をもらった、心優しいマリーの不思議な夜の物語。魔法でみにくい姿に変えられてしまった、くるみわり人形を助けることができるのか?

チャイコフスキーによる作曲とバレエの演目としても有名です。この冬はサンリオが製作した人形による実写映画が上映されることで話題になっています。

『伝統と郷土の料理』

NDC596リ (渡辺あきこ/著 学研)

題名のとおり、日本に伝わる料理の数々のレシピが載っています。コーナーの掲示物で紹介した雑煮の違いの例も見ることができます。



『サンタクロース公式ブック』 NDC386パ (パラダイス山元/著 小学館)

日本ではごちそうを食べてプレゼントをもらい、みんなでにぎやかにパーティ!というクリスマスですが、本当は家族と一緒に1年を振り返り感謝する行事なのです。日本でただ一人の公認サンタクロースである著者が教える本当のクリスマス。

●これらの本は特集コーナーにあります。この他にもたくさん本があるのでお楽しみに。紹介カードをかいてくれる人は司書まで声をかけてください。用紙を渡します。